

乗務員への指導・監督の記録

実施月日	令和 4 年 7 月 25 日
時 間	9 時 30 分 ~ 11 時 30 分
場 所	北上本店 営業所

非公開

非公開

【一般的な指導事項】

- ① 事業用自動車を運転する心構え
- ② 事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③ 事業用自動車の構造上の特性
- ④ 乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ⑤ 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥ 主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧ 運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨ 交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩ 健康管理の重要性
- ⑪ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対して
「ドライブレコーダー」により必要な指導を行う
- ⑬ ⑫の「ドライブレコーダー」の記録を活用したヒヤリハット体験を共有する
- ⑭ 非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

※ 乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項

- | | |
|-------------------------|---|
| 指
導
の
内
容 | 1 走行中の安全確保の方法 走行中のポイント |
| | ① 車内マイクでそのつど注意を呼びかける ② 車内ミラーで乗客の動きを把握しておこう |
| | 2 安全な運転操作 |
| | ① 危険予測を動かせ他車の動きを読む ② 急発進や急な加速・減速はしない |
| | ③ 急ハンドル操作も厳禁 ④ 急ブレーキをしない ⑤ 安全な速度と十分な車間距離を保つ |
| | ⑥ シートベルトの着用を徹底する |
| | 3 高齢者・障がい者の安全確保 ① 高齢者や障がい者の不安心理を理解しておく |
| | 4 バスの性能を知って安全確保 |
| | ① バスの性能を知ることが安全運転につながる ② スムーズな加速とギアチェンジ |
| | ③ 乗客に不快感を与えない発進と停止 ④ 駆動力と走行抵抗の関係 |
| | ⑤ 摩擦係数が少ないと停止距離は長くなる ⑥ 安全な制動方法 |
| | ⑦ ブレーキをかけてから停止するまでの距離 ⑧ 制御できない「空転」、「滑走」 |
| | ⑨ バスは35度以上傾けば横転する ⑩ 慣性の法則 ⑪ 遠心力と求心力 |
| | ⑫ 慣性の法則は乗客にも働く ⑬ 衝撃力は非常に大きい |
| ⑭ スピードや重量に比例して衝撃力は大きくなる | |

非公開

表回へ

